

令和5年度 第2学年

Unit 1	Hajin's Diary	題材	日常生活
		教科書ページ	p.9-17
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 日記に、出来事や感想などを書くことができる。 	配当時間	9時間
		学習時期	4月
言語材料	<p>基本文 Part 1 I went to Busan. I visited my grandparents. How was your trip to Korea? They were all interested in Japan.</p> <p>Part 2 What were you doing here? —I was studying Japanese.</p> <p>Part 3 When I was studying there, Eri came by. Eri came by when I was studying there.</p> <p>語句 diary, read, rode, roller coaster, night, view, scary, fantastic, anywhere, tournament, coach, honor, radio, then, program, ago, sunny, today, gift, awesome, came, excited, free, comic book, sweet, angry, nervous, cloudy, myself, order, surprised, evening, pamphlet,</p> <p>連語 keep a diary look for ~ last night came by ask ~ for ... talk with ~ in the afternoon in the evening</p> <p>表現 Long time no see. Good to see you. What else? There you are! I know. ~, right? What an honor!</p>		
言語の使用場面／働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動</p> <p>働き (ウ) 説明する (オ) 質問する, 依頼する</p>		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	動詞の過去形, 過去進行形, 接続詞 when の構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	動詞の過去形, 過去進行形, 接続詞 when を使った会話から, 過去にしたことやしていたこと, 特定のときにすることを正確に聞き取ることができる。	○				
	動詞の過去形, 過去進行形, 接続詞 when を使った英文を読んで, 内容を正しく理解したり, 正しく音読したりすることができる。		○			
	動詞の過去形, 過去進行形, 接続詞 when を使って, 過去にしたことやしていたこと, 特定のときにすることを正確に伝え合うことができる。			○		
	動詞の過去形, 過去進行形, 接続詞 when を使って, 過去にしたことやしていたこと, 特定のときにすることを正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物のある日の出来事を知るために, その人物の日記から出来事や感想を読み取り, 適切に理解している。		●			
	自分の体験が伝わるように, 出来事や感想を整理して, わかりやすく日記を書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	登場人物のある日の出来事を知るために, その人物の日記から出来事や感想を読み取ろうとしている。		■			
	自分の体験が伝わるように, 出来事や感想の整理のしかたを考えて, 日記を書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.9	<p>ストーリーの話題を予測し, おおまかな内容をつかむ。</p> <p>Play Back the Story</p> <p>タイトルや絵などから, ストーリーの話題を予測する。</p> <p>ストーリーを通して聞いて, おおまかな内容をつかむ。</p>	
2	p.10	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で既習文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>Play Back the Story</p> <p>p.10の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>一般動詞とbe動詞の過去形の意味・形・使い方を確認する。</p> <p>p.10の本文を音読する。</p>	<p>○p.10の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.11	動詞の過去形を使った会話を聞いたり、動詞の過去形を使って話したり書いたりする。 Play Back the Story Listen 会話から、登場人物が春休みにしたことと感想を聞き取る。 Speak 春休みにしたことと感想をたずね合う。 Write 自分が春休みにしたことと感想を書く。	○動詞の過去形を使った会話から、過去にしたことや感想を聞き取ることができる。 ○動詞の過去形を使って、過去にしたことや感想を伝え合うことができる。 ○動詞の過去形を使って、過去にしたことや感想を書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.12	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.12の本文を読んで、内容を理解する。 過去進行形の意味・形・使い方を理解する。 p.12の本文を音読する。	○p.12の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.13	過去進行形を使った会話を聞いたり、過去進行形を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 会話から、登場人物が昨日の夜にしていたことを聞き取る。 Active Words 家であることを表す語彙を確認する。 Speak 昨日の夜にしていたことをたずね合う。 Write 自分と友達が昨日の夜にしていたことを書く。	○過去進行形を使った会話から、登場人物がしていたことを聞き取ることができる。 ○過去進行形を使って、昨日の夜にしていたことを伝え合うことができる。 ○過去進行形を使って、昨日の夜にしていたことを書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.14	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.14の本文を読んで、内容を理解する。 接続詞 when の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.14の本文を音読する。	○p.14の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.15	接続詞 when を使った会話を聞いたり、接続詞 when を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 会話から、登場人物が時間のあるときや落ち込んだときにすることを聞き取る。 Speak 時間のあるときや落ち込んだときなどにすることをたずね合う。 Write 自分が時間のあるときにすることを書く。	○接続詞 when を使った会話から、特定のときにすることを聞き取ることができる。 ○接続詞 when を使って、特定のときにすることを伝え合うことができる。 ○接続詞 when を使って、自分が時間のあるときにすることを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.16	Goal 日記を書こう 登場人物の日記から、出来事や感想を読み取る。 帯活動 Read 登場人物の日記から、出来事や感想を読み取る。 日記の書き方を理解する。	●登場人物の日記から出来事や感想を読み取り、適切に理解している。 ■登場人物の日記から出来事や感想を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
9	p.17	自分の1日の出来事や感想を日記に書く。 帯活動 Write 1日の出来事を、時間の流れに沿って書く場合と印象に残った出来事を中心に書く場合とに分けて整理する。 整理した情報をもとに日記を書く。 書いた日記を読み合せて、自分と同じことをしていた友達などを見つける。 Unit 1の学習全体を振り返って、自己評価をする。	●自分の体験が伝わるように、出来事や感想を整理して、わかりやすく日記を書いている。 ■自分の体験が伝わるように、出来事や感想の整理のしかたを考えて、日記を書こうとしている。 (ワークシート)

Active Grammar 1	動詞の過去形／過去進行形	教科書ページ	p.18
		配当時間	1時間
教材の目標	・過去の出来事や状況などを伝える言い方を理解することができる。	学習時期	5月
言語材料	【復習】 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形 過去進行形		

評価規準	
知識	一般動詞や be 動詞の過去形，過去進行形の使用場面，意味，文の形を正確に理解している。
	Unit 1 のストーリーを読んで，動詞の過去形や過去進行形に○印を付け，意味を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.18	<p>一般動詞や be 動詞の過去形，過去進行形の使用場面，意味，文の形を整理し，過去の出来事や状況などを伝える言い方に慣れる。</p> <p>帯活動</p> <p>Unit 1 の Hajin の日記から，一般動詞や be 動詞の過去形，過去進行形の使用場面と意味を確認する。</p> <p>一般動詞の過去形を使った肯定文，疑問文，否定文の形を整理する。</p> <p>be 動詞の過去形を使った肯定文，疑問文，否定文の形を整理する。</p> <p>過去進行形を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。</p> <p>Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>活動を通して，一般動詞や be 動詞の過去形，過去進行形の使い方に慣れる。</p>	<p>○Unit 1 のストーリーを読んで，動詞の過去形や過去進行形に○印を付け，意味を確かめることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 2	Basketball Tournament	題材	球技大会
		教科書ページ	p.19-27
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。 	配当時間	9時間
		学習時期	5月
言語材料	<p>基本文 Part 1 I don't like playing basketball. I'm not good at passing the ball. Passing the ball isn't easy.</p> <p>Part 2 Hajin wants to shoot. The important thing is to pass the ball to Hajin.</p> <p>Part 3 I think (that) you did a great job. I'm sure (that) you like playing basketball now.</p> <p>語句 wrong, pass, problem, beginner, easy, important, thing, recently, more, point, shoot, stop, interpreter, chef, baker, driver, doctor, pilot, police, officer, police officer, scientist, congratulation, guy, job, proud, bicycle, paint, difficult, castle, novel, teamwork</p> <p>連語 do one's best try to ~ thanks to ~ be proud of ~ What kind of ~?</p> <p>表現 What's wrong? No problem. It worked. Go, ~! Congratulations! You did it! I'm sure ~.</p>		
言語の使用場面／働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動</p> <p>働き (イ) 褒める (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 依頼する</p>		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	動名詞、不定詞の名詞的用法, I think (that) ~. について正確に理解している。	○	○	○		○
	動名詞、不定詞の名詞的用法, I think (that) ~. を使った会話やスピーチから、好きなこと、したいこと、考えや意見などを正確に聞き取ることができる。	○				
	動名詞、不定詞の名詞的用法, I think (that) ~. を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	動名詞、不定詞の名詞的用法, I think (that) ~. を使って、好きなこと、したいこと、考えや意見などを正確にたずね合うことができる。			○		
	動名詞、不定詞の名詞的用法, I think (that) ~. を使って、好きなこと、したいこと、自分の考えなどを正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	最近何かで活躍した生徒について知るために、インタビューからその生徒の好きなことやしたいことなどの必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
	クラスの友達と互いに分かり合うために、好きなことやしたいことなどについて、その場で適切にたずね合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	インタビューからその生徒の好きなことやしたいことなどの情報を聞き取ろうとしている。	■				
	好きなことやしたいことなどについて、その場でたずね合おうとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.19	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 帯活動 タイトルや絵などから、ストーリーの話題を予測する。 ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.20	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.20の本文を読んで、内容を理解する。 動名詞の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.20の本文を音読する。	○p.20の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.21	動名詞を使ったインタビューを聞いたり、動名詞を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 街頭インタビューから、その人の趣味を聞き取る。 Speak 好きなことをたずね合う。 Write 友達が好きなことを書く。	○動名詞を使った会話から、その人の趣味を聞き取ることができる。 ○動名詞を使って好きなことなどをたずね合うことができる。 ○動名詞を使って友達が好きなことを書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.22	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.22の本文を読んで、内容を理解する。 不定詞の名詞的用法の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.22の本文を音読する。	○p.22の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.23	不定詞の名詞的用法を使った会話を聞いたり、不定詞の名詞的用法を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 会話から、登場人物が小学校の頃になりたかった職業を聞き取る。 Speak 小学校の頃になりたかった職業を伝え合う。 Write 自分と友達が伝え合った内容を書く。	○不定詞の名詞的用法を使った会話から、必要な情報を聞き取ることができる。 ○不定詞の名詞的用法を使って、小学校の頃になりたかった職業について伝え合うことができる。 ○不定詞の名詞的用法を使って、伝え合った内容を書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.24	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.24の本文を読んで、内容を理解する。 I think (that) ～. の意味・形・使い方を理解する。 p.24の本文を音読する。	○p.24の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.25	I think (that) ～. を使ったスピーチを聞いたり、I think (that) ～. を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen スピーチから、季節や教科などについての登場人物の考えを聞き取る。 Speak 季節や教科についての考えを伝え合う。 Write 季節や教科についての自分の考えを書く。	○I think (that) ～. を使ったスピーチから、その人の考えを聞き取ることができる。 ○I think (that) ～. を使って、互いの考えを伝え合うことができる。 ○I think (that) ～. を使って、自分の考えを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.26	Goal 好きなことやしたいことを伝え合おう インタビューから、好きなことやしたいことなどを聞き取る。 Listen 最近何かで活躍した生徒のインタビューから、好きなことやしたいことなどを聞き取る。 インタビューを聞いて、自分がインタビューをするときに使えるような表現を聞き取る。	●最近何かで活躍した生徒について知るために、インタビューからその生徒の好きなことやしたいことなどの必要な情報を聞き取り、適切に理解している。 ■インタビューからその生徒の好きなことやしたいことなどの情報を聞き取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
9	p.27	クラスの友達と好きなことやしたいことなどを伝え合う。 自分の好きなことやしたいことなどをメモして、質問に答えられるようにする。 Speak 好きなことやしたいことなどについて友達とやり取りをして、友達の話をもめる。 友達とやり取りした内容を発表する。 Unit 2の学習全体を振り返って、自己評価をする。	●クラスの友達と互いに分かり合うために、好きなことやしたいことなどについて、その場で適切にたずね合っている。 ■好きなことやしたいことなどについて、その場でたずね合おうとしている。 (観察・ワークシート)

Active Grammar 2	動名詞／不定詞 <名詞的用法>	教科書ページ	p.28
		配当時間	1時間
教材の目標	・「～すること」という言い方を理解することができる。	学習時期	6月
言語材料	【復習】 動名詞 不定詞の名詞的用法		

評価規準	
知識	動名詞や不定詞の名詞的用法の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。
	Unit 2 のストーリーを読んで、動名詞と不定詞を○で囲み、文の中でどんな役割をしているかを確認することができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.28	<p>動名詞や不定詞の名詞的用法の使用場面、意味、文の形を整理し、「～すること」という意味を伝える言い方に慣れる。</p> <p>帯活動</p> <p>Unit 2 のストーリーから、動名詞や不定詞の名詞的用法の使用場面と意味を確認する。</p> <p>動名詞が、目的語、主語、補語になる文の形を整理する。</p> <p>不定詞が、目的語、主語、補語となる文の形を整理する。</p> <p>動詞によって、目的語が動名詞になる場合、不定詞になる場合などがあることを確認する。</p> <p>Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>活動を通して、動名詞と不定詞の使い方に慣れる。</p>	<p>○Unit 2 のストーリーを読んで、動名詞と不定詞を○で囲み、文の中でどんな役割をしているかを確認することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Daily Life 1	電話	教科書ページ	p.29
		配当時間	1時間
教材の目標	・電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。	学習時期	6月
言語材料	基本文 May I speak to Bill, please? Can you come with me? 語句 bus stop, cycling 表現 This is ~. This is ~ speaking. What's up?		
言語の使用場面/ 働き	使用場面 (イ) 電話での対応 働き (ア) 話し掛ける (エ) 承諾する (オ) 依頼する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	Can you ~? という言い方や電話特有の表現について正確に理解している。			○		
	Can you ~? という言い方や電話特有の表現を使って、電話で何かを頼んだり応じたりするやり取りをすることができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.29	<p>電話で何かを頼んだり応じたりするやり取りを演じたり、自分たちで考えたやり取りをしたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>電話で何かを頼んだり応じたりするやり取りを聞いて、内容を確認する。</p> <p>ペアになり、教科書に示されたやり取りを演じる。</p> <p>ペアで、用件や待ち合わせの時刻・場所を変え、オリジナルのやり取りを考えて演じる。</p> <p>依頼や応答、電話特有の表現についてまとめる。</p>	<p>○Can you ~? という言い方や電話特有の表現を使って、電話で何かを頼んだり応じたりするやり取りをすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 3	Plans for the Summer	題材	夏休みの予定
		教科書ページ	p.31-39
単元目標	・メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 ・予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。	配当時間	9時間
		学習時期	6月
言語材料	基本文 Part 1 I'm going to visit my cousins in Okinawa. Are you going to visit your cousins? —Yes, I am . / No, I'm not . Part 2 It will be a hot summer. Will it be a hot summer? —Yes, it will . / No, it won't . Part 3 If you're hungry, we can go for a pizza. We can go for a pizza if you're hungry. 語句 plan, statue, liberty, kid, serious, tomorrow, tennis, flight, finish, pack, will, arrive, airport, forget, sunglasses, weather, cloud, rain, rainy, snowy, wind, windy, forecast, passenger, board, flight attendant, believe, suitcase, if, drive, straight, pizza, starving, central, theater, e-mail, tonight, borrow, clothes, shop, p.m., as, souvenir, information, laugh, loud 連語 go on a trip the day after tomorrow say hi to ~ go for ~ on the way home have a picnic take ~ to ... arrive at ~ 表現 I'd like to ~. Are you kidding? Take care. I'm starving! See you soon.		
言語の使用場面/働き	使用場面 (ア) 家庭での生活 (イ) 電子メールのやり取り 働き (ア) 聞き直す (イ) 歓迎する (ウ) 報告する (エ) 申し出る (オ) 質問する, 招待する		

知識・技能	評価規準	L	R	SI	SP	W
	be going to, 助動詞 will, 接続詞 if の構文について正確に理解している。		○	○	○	
be going to, 助動詞 will, 接続詞 if を使った会話や予報から、予定や未来のこと、条件に応じたことなどを正確に聞き取ることができる。		○				
be going to, 助動詞 will, 接続詞 if を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。			○			
be going to, 助動詞 will, 接続詞 if を使って、予定や未来のこと、条件に応じたことを正確に伝え合うことができる。				○		
be going to, 助動詞 will, 接続詞 if を使って、予定や未来のこと、条件に応じたことを正確に書くことができる。						○
思考・判断・表現	登場人物の考えを知るために、メールからその人物の予定や希望などの必要な情報を読み取り、適切に理解している。		●			
	予定や希望を伝えるために、適切な形式や表現を用い、気持ちが伝わる一言を付け加えるなどの工夫をしてメールを書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	メールからその人物の予定や希望などの情報を読み取ろうとしている。		■			
	適切な形式や表現を考えたり、一言付け加えるなどの工夫をしたりして、メールを書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.31	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 帯活動 タイトルや写真などから、ストーリーの話題を予測する。 ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.32	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.32の本文を読んで、内容を理解する。 be going to の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.32の本文を音読する。	○p.32の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.33	be going to を使った会話を聞いたり, be going to を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 会話から, 登場人物の予定を聞き取る。 Speak 来週の予定を伝え合う。 Write 自分の来週の予定を書く。	○be going to を使った会話から, 予定を聞き取ることができる。 ○be going to を使って, 来週の予定を伝え合うことができる。 ○be going to を使って, 自分の来週の予定を書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.34	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.34 の本文を読んで, 内容を理解する。 助動詞 will の意味・形・使い方を理解する。 p.34 の本文を音読する。	○p.34 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.35	助動詞 will を使った天気予報を聞いたり, 助動詞 will を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 天気予報から, 各都市の天候についての情報を聞き取る。 Speak 夏休みにしようと思うことをたずね合う。 Write 自分と友達が夏休みにしようと思うことを書く。	○助動詞 will を使った天気予報から, 天候についての情報を聞き取ることができる。 ○助動詞 will を使って, 夏休みにしようと思うことをたずね合うことができる。 ○助動詞 will を使って, 自分と友達がしようと思うことを書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.36	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.36 の本文を読んで, 内容を理解する。 接続詞 if の構文の意味と形と使い方を理解する。 p.36 の本文を音読する。	○p.36 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.37	接続詞 if を使った会話を聞いたり, 接続詞 if を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 観光案内所での会話から, 条件に応じたおすすめの間所を聞き取る。 Speak 条件に応じてしようと思うことを伝え合う。 Write 条件に応じて自分と友達がしようと思うことを書く。	○接続詞 if を使った会話から, 条件に応じたおすすめの間所を聞き取ることができる。 ○接続詞 if を使って, 条件に応じてしようと思うことを伝え合うことができる。 ○接続詞 if を使って, 条件に応じて自分と友達がしようと思うことを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.38	Goal メールで予定を伝えよう 登場人物が書いたメールの返事から, 予定や希望などを読み取る。 帯活動 Read Kota が Tina に宛てて書いたメールの返事から, Kota の予定と希望を読み取る。 メールの書き方を確認する。	●登場人物の考えを知るために, メールからその人物の予定や希望などの必要な情報を読み取り, 適切に理解している。 ■メールからその人物の予定や希望などの情報を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
9	p.39	登場人物になったつもりで, 予定や希望などを伝えるメールを書く。 Write Kota になったつもりで, Eri と Hajin に宛てて, 予定や希望などを伝えるメールを書く。 書いたメールを読み合い, 工夫しているところなどを評価し合う。 Unit 3 の学習全体を振り返って, 自己評価をする。	●予定や希望を伝えるために, 適切な形式や表現を用い, 気持ちが伝わる一言を付け加えるなどの工夫をしてメールを書いている。 ■適切な形式や表現を考えたり, 一言付け加えるなどの工夫をしたりして, メールを書こうとしている。 (ワークシート)

Active Grammar 3	be going to / will	教科書ページ	p.40
		配当時間	1時間
教材の目標	・未来のことを伝える言い方を理解することができる。	学習時期	6月
言語材料	【復習】 be going to 助動詞 will		

	評価規準
知識	be going to や will の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。
	Unit 3 のストーリーを読んで、be going to や will を使った文に○印を付け、意味を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.40	<p>be going to や will の使用場面、意味、文の形を整理し、未来のことを伝える言い方に慣れる。</p> <p>帯活動</p> <p>Unit 3 のストーリーから、be going to と will の使用場面と意味を確認する。</p> <p>be going to と will の使い方の違いを確認する。</p> <p>be going to を使った肯定文、疑問文、否定文の形を整理する。</p> <p>will を使った肯定文、疑問文、否定文の形を整理する。</p> <p>Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>活動を通して、動名詞と不定詞の使い方に慣れる。</p>	<p>○Unit 3 のストーリーを読んで、be going to や will を使った文に○印を付け、意味を確かめることができる。</p> <p style="text-align: right;">（観察・ワークシート）</p>

Daily Life 2	アナウンス	教科書ページ	p.41
		配当時間	1時間
教材の目標	・アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。	学習時期	7月
言語の使用場面/ 働き	使用場面 (イ) 旅行 働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	空港や機内のアナウンスから、時刻や場所などの情報を聞き取ることができる。	○				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.41	<p>空港や機内のアナウンスから、必要な情報を聞き取る。</p> <p>帯活動</p> <p>搭乗券の情報を確認する。</p> <p>空港のアナウンスから、変更された搭乗口と搭乗開始時刻の情報を聞き取る。</p> <p>機内のアナウンスから、手荷物の置き場所についての情報を聞き取る。</p> <p>機内のアナウンスから、飛行時間と到着時刻の情報を聞き取る。</p>	<p>○空港や機内のアナウンスから、時刻や場所などの情報を聞き取ることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Let's Read 1	Sukh's White Horse	題材	モンゴルの民話
		教科書ページ	p.42-44
教材の目標	・物語から、出来事の経過を読み取ることができる。	配当時間	3時間
		学習時期	7月
言語材料	<p>語句 once, upon, boy, Mongolia, find, found, baby, grow, grew, race, said, winner, marry, daughter, part, town, begin, began, ran, lead, silver, leave, stupid, man, men, beat, kick, happen, leap, fell, quick, shot, arrow, outside, injured, die, could, finally, slept, dream, musical, bone, hair, feel, felt, move, heart</p> <p>連語 once upon a time take care of ~ grow up take part in ~ get on go home take ~ away from ... ride on ~ fall off ~ run away keep on -ing make ~ out of ...</p>		
言語の使用場面 / 働き	働き (ウ) 説明する, 描写する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	動詞の過去形や助動詞 will, 接続詞 when, 接続詞 if などの用法について正確に理解している。		○			
	物語から、いつどのような出来事が起こったかを読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	物語のあらすじを理解するために、時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉えようとしている。		■			
	読んだ内容をもとに登場人物の心情について考えたり、人物の心情が表れている文を見つけたりしようとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.42-44	<p>物語を通して聞いたり読んだりしてあらすじをつかんだ後、Sukh と白馬が競馬で優勝するまでの出来事の詳細を読み取る。</p> <p>帯活動 Before You Read タイトルや絵から、物語の内容を推測する。 物語全体を通して聞き、物語のイメージをもつ。 物語全体を通して読み、あらすじをつかむ。 p.42 を読み、T or F や Q&A で出来事の詳細を確かめる。</p>	<p>■物語のあらすじを理解するために、時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉えようとしている。</p> <p>○p.42 を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
2	p.43-44	<p>Ruler が白馬を取り上げてしまう場面から、物語の最後までので出来事の詳細を読み取る。</p> <p>帯活動 p.43-44 を読み、T or F や Q&A で出来事の詳細を確かめる。</p>	<p>○p.43-44 を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
3	p.44	<p>出来事の経過を整理しながら物語のあらすじを確かめ、登場人物の心情を考える。</p> <p>帯活動 After You Read 物語全体の出来事の経過を捉える。 Think 登場人物の心情を考えたり、人物の心情が表れている文を考えたりして、友達と伝え合う。</p>	<p>●時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉えている。</p> <p>■読んだ内容をもとに登場人物の心情について考えたり、人物の心情が表れている文を見つけたりしようとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

World Tour 1	いろいろな単位	教科書ページ	p.46-47
		配当時間	1時間
教材の目標	・会話から、日本とは異なるいろいろな単位を聞き取ることができる。	学習時期	7月
言語材料	語句 temperature, degree, length, feet, meter, quantity, milliliter, price, yen		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 説明する (オ) 質問する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	数の言い方を正確に理解している。	○				
	会話から、気温・長さ・液量・値段を正確に聞き取ることができる。	○				
思考・判断・ 表現	自分の予想が当たっているかどうか確かめるために、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
主体的に学習に 取り組む態度	気温・長さ・液量・値段についての情報を聞き取ろうとしている。	■				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.46-47	<p>会話から、いろいろな単位についての情報を聞き取る。</p> <p>帯活動</p> <p>国によって異なる単位が使われていることに気付く。</p> <p>登場人物の会話から、気温・化石の大きさ・飲み物の量・お土産の値段に関する数字を聞き取る。</p> <p>アメリカでは日本とは異なる単位が使われていることを知り、それぞれ日本の単位にするとどうなるかを予想する。</p> <p>会話の続きを聞き、答えを確かめる。</p> <p>Think 身近なものでヤードポンド法の単位を使って表されているものについて考える。</p>	<p>○会話から、気温・長さ・液量・値段を正確に聞き取ることができる。</p> <p>●自分の予想が当たっているかどうか確かめるために、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>■気温・長さ・液量・値段についての情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

You Can Do It! 1	わが町観光プランをおすすめしよう	教科書ページ	p.48-49
		配当時間	2時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交換留学生の自己紹介文から、2人の興味・関心があることを読み取ることができる。 ・相手の興味・関心に応じた観光プランを考えて、発表することができる。 	学習時期	7月
言語材料	語句 Finland, girl, country, share, ice hockey, great-grandparent, Brazilian, among, sightseeing 連語 take a photo share ~ with ...		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	交換留学生の自己紹介文から、趣味や好きなこと、したいことなどの内容を読み取ることができる。		○			
	予定や未来のこと、自分たちの考えなどを話すことができる。				○	
思考・判断・表現	2人の交換留学生の興味・関心があることを知るために、それぞれの自己紹介文から必要な情報を読み取り、適切に理解している。		●			
	2人の交換留学生がいっしょに楽しむことができる観光プランを、見どころとそこをすすめる理由などを整理して発表している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	2人の自己紹介文から、必要な情報を読み取ろうとしている。		■			
	2人の交換留学生の興味・関心にもとづき、伝える内容の整理のしかたを考えて発表しようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.48-49	<p>交換留学生の自己紹介文を読んで、それぞれの興味・関心があることを理解し、2人がいっしょに楽しめる観光プランを考える。</p> <p>Reading Mikaの自己紹介文から、興味・関心を読み取る。 Satomiの自己紹介文から、興味・関心を読み取る。 2人の興味・関心があることを確認する。</p> <p>Thinking グループになり、2人がいっしょに楽しむことができる観光プランを考える。 グループで3つの見どころとおすすめポイントを決める。</p>	<p>○交換留学生の自己紹介文から、趣味や好きなこと、したいことなどの内容を読み取ることができる。</p> <p>●2人の交換留学生の興味・関心があることを知るために、それぞれの自己紹介文から必要な情報を読み取り、適切に理解している。</p> <p>■2人の自己紹介文から、必要な情報を読み取ろうとしている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
2	p.49	<p>グループごとに観光プランを発表し、どのプランがいちばんよいかを決める。</p> <p>Speaking グループで発表の内容と方法を決めて、発表の準備をする。 発表の練習をする。 グループごとに発表する。聞き手は発表の内容をメモする。 いちばんよいと思うプランを、理由といっしょに書きとめ、クラスで話し合う。 活動を振り返って自己評価をする。</p>	<p>○予定や未来のこと、自分たちの考えなどを話すことができる。</p> <p>●2人の交換留学生がいっしょに楽しむことができる観光プランを、見どころとそこをすすめる理由などを整理して発表している。</p> <p>■2人の交換留学生の興味・関心にもとづき、伝える内容の整理のしかたを考えて発表しようとしている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>

Daily Life 3	レストラン	教科書ページ	p.50
		配当時間	1時間
教材の目標	・飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。	学習時期	9月
言語材料	基本文 Shall I take your order? Would you like some drinks? Will you bring them now? 語句 large, topping, tomato, onion, olive, mushroom, meatball, French fries, bread, soda, iced, shall, size, thirsty 表現 Yes, please. I'll be right back.		
言語の使用場面/ 働き	使用場面 (イ) 食事 働き (エ) 申し出る (オ) すすめる, 依頼する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	Shall I ~? や Would you like ~? や Will you ~? という言い方について正確に理解している。			○		
	Shall I ~? や Would you like ~? や Will you ~? という言い方を使って、飲食店で注文したり何かを依頼したりするやり取りをすることができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.51	<p>飲食店で注文したり何かを依頼したりするやり取りを演じたり、自分たちで考えたやり取りをする。</p> <p>帯活動</p> <p>飲食店で注文したり何かを依頼したりするやり取りを聞いて、内容を確認する。</p> <p>教科書に示されたやり取りを演じる。</p> <p>ペアで、注文するものを変え、オリジナルのやり取りを考えて演じる。</p> <p>申し出や依頼、注文で使う表現についてまとめる。</p>	<p>○Shall I ~? や Would you like ~? や Will you ~? という言い方を使って、飲食店で注文したり何かを依頼したりするやり取りをすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 4	Tour in New York City	題材	海外旅行
		教科書ページ	p.51-59
単元目標	・ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。 ・施設やできることなどを言って、場所を紹介することができる。	配当時間	9時間
		学習時期	9月
言語材料	基本文 Part 1 There is a ferry to the island. Is there a ferry to the island? —Yes, there is . / No, there isn't . There are a lot of theaters on <u>Broadway</u> . Part 2 Show me the leaflet. This tells you the history of the statue. Part 3 There are so many fun things to do here. You have a place to stay . 語句 tour, city, island, ferry, battery, check, tall, ton, weight, hold, hand, torch, past, guide, ship, leaflet, history, flag, mug, sticker, anytime, something, cafe, market, bookstore, exercise, oasis, center, nature, rent, example, ice-skating rink, lover, concert, attraction, such, carriage, jog 連語 make a plan check out ~ in the past come back first of all for example ~, such as ... 表現 You're always welcome here.		
言語の使用場面 / 働き	使用場面 (イ) 旅行 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 歓迎する (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 質問する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	There is ~. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法について正確に理解している。	○	○	○	○	○
	There is ~. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法を使った会話から、場所や品物などについての情報を正確に聞き取ることができる。	○				
	There is ~. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	There is ~. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法を使って、行きたい場所や欲しいものについて正確に伝え合ったり、場所を紹介したりすることができる。			○	○	
	There is ~. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法を使って、行きたい場所や欲しいものについて正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	セントラルパークの見どころを知るために、ガイドブックから施設やできることなどの必要な情報を読み取り、適切に理解している。		●			
	先生の興味・関心に合うように、ニューヨークでおすすめの場所やそこで体験できることなどの情報を整理し、まとまりのある観光プランを発表している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	施設やできることなどの情報を読み取ろうとしている。		■			
	先生の興味・関心に合うように、情報の整理のしかたを考えて、まとまりのある観光プランを発表しようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.51	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 帯活動 タイトルや写真などから、ストーリーの話題を予測する。 ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.52	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.52の本文を読んで、内容を理解する。 There is ~. の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.52の本文を音読する。	○p.52の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.53	There is ～. を使った会話を聞いたり, There is ～. を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 行きたい場所についての会話から, 登場人物がその場所に行きたい理由を聞き取る。 Speak 次の休暇で行きたい場所とそこにあるものを伝え合う。 Write 自分が行きたい場所とそこにあるものを書く。	○There is ～. を使った会話から, その場所に行きたい理由を聞き取ることができる。 ○There is ～. を使って, 行きたい場所とそこにあるものを伝え合うことができる。 ○There is ～. を使って, 行きたい場所とそこにあるものを書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.54	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.54の本文を読んで, 内容を理解する。 <S+V+O+O>の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.54の本文を音読する。	○p.54の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.55	<S+V+O+O>を使った会話を聞いたり, <S+V+O+O>を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen お土産についての会話から, その人が誰に何を買うのかを聞き取る。 Speak 自分なら誰にどんなお土産を買いたいかをたずね合い, グループ内で発表し合う。 Write 自分なら誰にどんなお土産を買いたいかを書く。	○<S+V+O+O>を使った会話から, その人が誰に何を買うかを聞き取ることができる。 ○<S+V+O+O>を使って, 誰に何を買うかをたずね合ったり発表したりすることができる。 ○<S+V+O+O>を使って, 誰に何を買うかを書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.56	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.56の本文を読んで, 内容を理解する。 不定詞の形容詞的用法の意味・形・使い方を理解する。 p.56の本文を音読する。	○p.56の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.57	不定詞の形容詞的用法を使った会話を聞いたり, 話したり書いたりする。 帯活動 Listen 登場人物の会話から, 地元のおすすめスポットを聞き取る。 Speak どの場所について説明しているかを当て合う。 Write 自分が行きたい場所とその理由を書く。	○不定詞の形容詞的用法を使った会話から, 地元のおすすめスポットを聞き取ることができる。 ○不定詞の形容詞的用法を使って, 場所を説明することができる。 ○不定詞の形容詞的用法を使って, 行きたい場所とその理由を書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.58-59	Goal ミニ観光プランを考えよう ガイドブックから, どんな施設があってどんなことができるかを読み取る。 帯活動 Read ガイドブックのセントラルパークの紹介文から, 公園にある施設や公園でできることを読み取る。	●セントラルパークの見どころを知るために, ガイドブックから施設やできることなどの必要な情報を読み取り, 適切に理解している。 ■施設やできることなどの情報を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
9	p.59	先生に質問をして興味・関心を探り, おすすめの観光プランを考えて紹介する。 帯活動 それまでに教科書に出てきたニューヨークの観光名所の情報を復習する。 グループになり, 質問しながら先生の興味・関心を探る。 おすすめの観光プランを考える。 Speak グループごとに, おすすめの観光プランを先生に紹介する。 Unit 4の学習全体を振り返って, 自己評価をする。	●先生の興味・関心に合うように, ニューヨークでおすすめの場所やそこで体験できることなどの情報を整理し, まとまりのある観光プランを発表している。 ■情報の整理のしかたを考えて, まとまりのある観光プランを発表しようとしている。 (観察・ワークシート)

Daily Life 4	道案内	教科書ページ	p.60
		配当時間	1時間
教材の目標	・行き方をたずねたり教えたりする，道案内のやり取りができる。	学習時期	9月
言語材料	基本文 Could you tell me the way to the Metropolitan Museum of Art? How can I get to a subway station? How long does it take to get to 51st Street? 語句 excuse, street, along, left 連語 get off get to ~ near here 表現 Excuse me. You're welcome.		
言語の使用場面 /働き	使用場面 (イ) 道案内 働き (ア) 話し掛ける (オ) 依頼する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	Could you ~? や how で始まる疑問文の構文について正確に理解している。			○		
	Could you ~? や how で始まる疑問文を使って，行き方をたずねたり教えたりする道案内のやり取りをすることができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.60	道案内のやり取りを演じたり，自分たちで考えたやり取りをしたりする。 帯活動 道案内のやり取りを聞いて，内容を確認する。 教科書に示されたやり取りを演じる。 ペアで，地図を見ながら行きたい場所を変え，オリジナルのやり取りを考えて演じる。 依頼や how で始まる疑問文，道案内で使う表現についてまとめる。	○Could you ~? や how で始まる疑問文を使って，行き方をたずねたり教えたりする道案内のやり取りをすることができる。 (観察・ワークシート)

Active Grammar 4	目的語	教科書ページ	p.61
		配当時間	1時間
教材の目標	・動詞の目的語について理解することができる。	学習時期	10月
言語材料	【復習】 <S+V+O>の文の形 <S+V+O+O>の文の形 語句 gave, send		

	評価規準
知識	<S+V+O>と<S+V+O+O>の文の形を正確に理解している。 Unit 4 のストーリーを読んで、目的語をとる動詞を○で囲み、その目的語を□で囲むことができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.61	動詞の目的語について理解し、使い方に慣れる。 帯活動 <S+V+C>と<S+V+O>の文を比べ、動詞の後に来る語の主語との関係の違いに気づく。 <S+V+O>の文の形を整理する。 <S+V+O+O>の文の形を整理する。 活動を通して、<S+V+O+O>の文の形に慣れる。 Unit 4 のストーリーを読んで、目的語をとる動詞を○で囲み、その目的語を□で囲む活動を行う。	○Unit 4 のストーリーを読んで、目的語をとる動詞を○で囲み、その目的語を□で囲むことができる。 (観察・ワークシート)

Unit 5	Earthquake Drill	題材	防災訓練
		教科書ページ	p.63-71
単元目標	・説明から、どんなものかを聞き取ることができる。 ・防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。	配当時間	9時間
		学習時期	10月
言語材料	基本文 Part 1 You have to get down. You don't have to get down. Part 2 You must stay calm. You must not leave your group. Part 3 We should pack a flashlight. You shouldn't forget some cat food. 語句 earthquake, drill, safety, action, learn, group, discussion, down, shake, post, post office, bathroom, close, door, quietly, iron, protect, drop, cover, safe, knee, wall, head, neck, both, arm, quickly, push, must, calm, instruction, typhoon, into, nearby, lightning, tree, space, prepare, emergency, evacuation, useful, checklist, should, flashlight, whistle, anime, become, member, broadcasting, medicine, towel, glove, reason 連語 get down hold on stay away from ~ go into ~ in a group 表現 I don't know. Let's see. I don't think		
言語の使用場面 / 働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動, 家庭での生活 働き (ア) 相づちを打つ (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 命令する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	have to ～や助動詞 must, should を使った言い方について正確に理解している。	○	○	○		○
	have to ～や助動詞 must, should を使った会話やラジオ放送から、しなければならないことやすべきことなどを正確に聞き取ることができる。	○				
	have to ～や助動詞 must, should を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	have to ～や助動詞 must, should を使って、しなければならないことやすべきことなどを伝え合うことができる。			○		
	have to ～や助動詞 must, should を使って、しなければならないことやすべきことなどを書くことができる。					○
思考・判断・表現	防災バッグに入れるべきものについて知るために、品物の説明から必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
	防災バッグに入れるものを決めるために、自分の考えやその理由、友達の考えを聞いて思ったことなどを伝えながらグループで話し合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	品物の説明から必要な情報を聞き取ろうとしている。	■				
	自分の考えやその理由、友達の考えを聞いて思ったことなどを伝えようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.63	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 帯活動 タイトルや写真, 防災についての知識などから、ストーリー的话题を予測する。 ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.64	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.64の本文を読んで、内容を理解する。 have to ～, don't have to ～の意味・形・使い方を理解する。 p.64の本文を音読する。	○p.64の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.65	have to ～, don't have to ～ を使った会話を聞いたり, have to ～, don't have to ～ を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 会話から, 登場人物がしなければならないことと, しなくてもよいことを聞き取る。 Speak 家でなければならないことと, しなくてもよいことを伝え合う。 Write 家での決まりごとについて, 自分と友達とで違うことを書く。	○have to ～, don't have to ～ を使った会話から, しなければならないこととしなくてもよいことを聞き取ることができる。 ○have to ～, don't have to ～ を使って, 家での決まりごとを伝え合うことができる。 ○have to ～, don't have to ～ 家の決まりごとについて書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.66	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.66 の本文を読んで, 内容を理解する。 助動詞 must, must not の意味・形・使い方を理解する。 p.66 の本文を音読する。	○p.66 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.67	助動詞 must, must not を使ったラジオ放送を聞いたり, must, must not を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen ラジオ放送から, 災害のときにしなければならないことと, してはならないことを聞き取る。 Speak 災害のときにしなければならないこと, としてはならないことを伝え合う。 Write 災害のときにしなければならないことと, してはならないことを書く。	○must, must not を使ったラジオ放送から, 災害が起こったときの注意事項を聞き取ることができる。 ○must, must not を使って, 災害が起こったときの対応について伝え合うことができる。 ○must, must not を使って, 災害が起こったときの対応について書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.68	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.68 の本文を読んで, 内容を理解する。 助動詞 should, should not の意味・形・使い方を理解する。 p.68 の本文を音読する。	○p.68 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.69	助動詞 should, should not を使った会話を聞いたり, should, should not を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 会話から, 登場人物のアドバイスの内容を聞き取る。 Speak 状況に応じたアドバイスをし合う。 Write 自分がしたアドバイスを書く。	○should, should not を使った会話から, アドバイスの内容を聞き取ることができる。 ○should, should not を使って, 状況に応じたアドバイスをすることができる。 ○自分がしたアドバイスを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.70-71	Goal 防災バッグの中身を決めよう 防災バッグに入れるものの説明を聞いて内容を理解し, バッグに入れるべきものについて考える。 帯活動 Listen 防災バッグに入れるものの説明から, 説明しているものが何かを聞き取る。 防災バッグに入れるべきだと思うものを考える。	●防災バッグに入れるべきものについて知るために, 品物の説明から必要な情報を聞き取り, 適切に理解している。 ■品物の説明から必要な情報を聞き取るようとしている。 (観察・ワークシート)
9	p.71	防災バッグに何をを入れるかをグループで話し合い, その結果を発表し合う。 帯活動 Speak グループになり, 防災バッグに何をを入れるべきかを話し合って決める。 防災バッグに入れるものと選んだ理由を書き, グループごとに発表する。 Unit 5 の学習全体を振り返って, 自己評価をする。	●防災バッグに入れるものを決めるために, 自分の考えやその理由, 友達の考えを聞いて思ったことなどを伝えながらグループで話し合っている。 ■自分の考えやその理由, 友達の考えを聞いて思ったことなどを伝えようとしている。 (観察・ワークシート)

Daily Life 5	イベントのお知らせ	教科書ページ	p.72
		配当時間	1時間
教材の目標	・複数の掲示物から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。	学習時期	10月
言語材料	語句 attend, forest, garden, plant, a.m., used, collection, Africa, volunteer, join, Halloween, nothing, spend, whole, someone 連語 have fun spend ~ on -ing		
言語の使用場面 /働き	使用場面 (ア) 地域の行事 働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	不定詞の形容詞的用法, have to ~, 助動詞 should を使った言い方について正確に理解している。		○			
	条件文から自分の予定や希望を読み取ることができる。		○			
	複数の掲示物からイベントの日時や内容を読み取り, 条件に合うイベントを選ぶことができる。		○			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.72	自分のスケジュールを理解し, 複数の掲示板から自分が必要とする情報を読み取ってスケジュールに合うイベントを探す。 帯活動 掲示のおおよその内容を確認する。 条件文から自分の予定や希望を読み取り, 条件に合う日と時間帯を確認する。 それぞれの掲示物を読んで詳細を確認, 条件に合うイベントを選ぶ。	○条件文から自分の予定や希望を読み取ることができる。 ○複数の掲示物からイベントの日時や内容を読み取り, 条件に合うイベントを見つけることができる。 (観察・ワークシート)

Daily Life 6	体調不良	教科書ページ	p.73
		配当時間	1時間
教材の目標	・体調をたずねたり，助言をしたりするやり取りができる。	学習時期	10月
言語材料	基本文 You look pale. I think you should go home and go to bed. 語句 pale, sick, mm, headache, achoo, meeting, explain, situation, finger, knife, hurt 連語 take some medicine 表現 Take it easy.		
言語の使用場面 ／働き	使用場面 (ア) 学校の学習や活動 働き (ア) 話し掛ける (エ) 意見を言う		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	You look ～. や症状を言うときの表現，助動詞 should を使った言い方について正確に理解している。			○		
	You look ～. や症状を言うときの表現，助動詞 should を使って，体調をたずねたり助言をしたりするやり取りができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.73	体調をたずねたり助言をしたりするやり取りを演じたり，自分たちで考えたやり取りをしたりする。 帯活動 体調をたずねたり助言をしたりするやり取りを聞いて，内容を確認する。 教科書に示されたやり取りを演じる。 ペアで，症状や助言の内容を変え，オリジナルのやり取りを考えて演じる。 体調をたずねたり助言をしたりする言い方についてまとめる。	○You look ～. や症状を言うときの表現，助動詞 should を使って，体調をたずねたり助言をしたりするやり取りができる。 (観察・ワークシート)

Active Grammar 5	助動詞	教科書ページ	p.74
		配当時間	1時間
教材の目標	・既習の助動詞を整理して理解することができる。	学習時期	11月
言語材料	【復習】 助動詞 can, will, may, shall, could, would, must, should 語句 hunt, certainly 表現 Shall we ~ ?		

	評価規準
知識	既習の助動詞の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。
	Unit 5 のストーリーを読んで、助動詞を○で囲み、意味を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.74	既習の助動詞それぞれの使用場面、意味、文の形を整理し、使い方に慣れる。 帯活動 Unit 5 の Tina の言葉から、shouldn't という助動詞の使用場面と意味を確認する。 助動詞 can, will, may, shall, could, would, must, should の使用場面と意味を確認する。 上記の助動詞の働きと文の形を整理する。 Grammar Hunt の活動をする。 活動を通して、既習の助動詞の使い方に慣れる。	○Unit 5 のストーリーを読んで、助動詞を○で囲み、意味を確かめることができる。 (観察・ワークシート)

Unit 6	Work Experience	題材	職場体験
		教科書ページ	p.75-83
単元目標	・レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。 ・職場で体験したことや感想などを伝える、レポートを書くことができる。	配当時間	9時間
		学習時期	11月
言語材料	基本文 Part 1 He's here to help you. I study English to travel around. Part 2 We were able to communicate well because we talked in English. Because we talked in English, we were able to communicate well. Part 3 I'm glad to hear that. 語句 experience, through, Nepali, girlfriend, language, abroad, arts and crafts, able, communicate, because, teach, stand, child, children, pay, attention, surprising, preparation, again, glad, exam, week, won, prize, fail, lose, lost, match, staff, touch, shrimp, starfish, stood, introduce, question, answer, sea, living, living thing, anyway 連語 make friends talk about ~ help ~ with ... be able to ~ keep -ing ~ times a day pay attention to ~ pass the exam 表現 Where are you from?		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ア) 相づちを打つ (ウ) 報告する (エ) 意見を言う (オ) 質問する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	不定詞の副詞的用法や接続詞 because の構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	不定詞の副詞的用法や接続詞 because を使った会話から、目的や理由や原因を正確に聞き取ることができる。	○				
	不定詞の副詞的用法や接続詞 because を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	不定詞の副詞的用法や接続詞 because を使って、正確に目的や理由を伝え合ったりロールプレイをしたりすることができる。			○		
	不定詞の副詞的用法や接続詞 because を使って、目的や理由やロールプレイで話したことを正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物の職場体験の様子を知るために、レポートからその人物が体験したことや感想などのおおまかな内容を読み取り、適切に理解している。		●			
	職場体験の様子を伝えるために、自分が体験したことや感想を、まとまりのある文章でレポートに書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	レポートからおおまかな内容を読み取るようとしている。		■			
	読んだレポートを参考に、自分が体験したことや感想を書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.75	ストーリーの問題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 帯活動 タイトルや写真、自分の職場体験の思い出などから、ストーリーの問題を予測する。 ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.76	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.76の本文を読んで、内容を理解する。 目的を表す不定詞の副詞的用法の意味・形・使い方を理解する。 p.76の本文を音読する。	○p.76の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.77	<p>目的を表す不定詞の副詞的用法を使った会話を聞いたり、不定詞の副詞的用法を使って話したり書いたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>Listen 会話から、登場人物が日本語を勉強する目的を聞き取る。</p> <p>Speak 英語を勉強する目的をたずね合う。</p> <p>Write 自分と友達が英語を勉強する目的を書く。</p>	<p>○目的を表す不定詞の副詞的用法を使った会話から、その人が日本語を勉強する目的を聞き取ることができる。</p> <p>○不定詞の副詞的用法を使って、英語を勉強する目的をたずね合うことができる。</p> <p>○不定詞の副詞的用法を使って、自分と友達が英語を勉強する目的を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
4	p.78	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>帯活動</p> <p>p.78の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>接続詞 because の構文の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>p.78の本文を音読する。</p>	<p>○p.78の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
5	p.79	<p>接続詞 because を使った会話を聞いたり、because を使って話したり書いたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>Listen 職場体験についての会話から、それぞれの仕事を楽しかった理由と大変だった理由を聞き取る。</p> <p>Speak 楽しいと思うこととそうでないことについて、そう思う理由を伝え合う。</p> <p>Write 自分が楽しいと思うことを理由とともに書く。</p>	<p>○接続詞 because を使った会話から、仕事を楽しかった理由と大変だった理由を聞き取ることができる。</p> <p>○接続詞 because を使って、自分の考えとその理由を伝え合うことができる。</p> <p>○接続詞 because を使って、自分が楽しいと思うことを理由とともに書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
6	p.80	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>帯活動</p> <p>p.80の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>原因を表す不定詞の副詞的用法の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>p.80の本文を音読する。</p>	<p>○p.80の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
7	p.81	<p>会話を聞いて最後に入るせりふを選んだり、原因を表す不定詞の副詞的用法を使って話したり書いたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>Listen 登場人物の会話を聞いて、会話の最後に入るせりふとしてふさわしい文を選ぶ。</p> <p>Speak 不定詞の副詞的用法を使ってロールプレイをする。</p> <p>Write ロールプレイで話した内容を書く。</p>	<p>○会話を聞いて、不定詞の副詞的用法を使った文から、会話の最後にふさわしいせりふを選ぶことができる。</p> <p>○不定詞の副詞的用法を使って、ロールプレイの会話を演じることができる。</p> <p>○不定詞の副詞的用法を使って、ロールプレイで話した内容を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
8	p.82-83	<p>Goal 職場体験について報告しよう</p> <p>職場体験のレポートを読んでおおまかな内容を理解し、自分の職場体験について伝えたい情報をメモする。</p> <p>帯活動</p> <p>Read 登場人物の職場体験のレポートから、働いた場所、体験したこと、感想を読み取る。</p> <p>Q&Aなどで内容の詳細やレポートの書き方を確認する。</p> <p>自分の職場体験について伝えたい情報をメモにまとめる。</p>	<p>●登場人物の職場体験の様子を知るために、レポートからその人物が体験したことや感想などのおおまかな内容を読み取り、適切に理解している。</p> <p>■レポートからおおまかな内容を読み取るようとしている。 (観察・ワークシート)</p>
9	p.83	<p>職場体験のレポートを書き、互いのレポートを読み合う。</p> <p>帯活動</p> <p>メモをもとに、職場体験のレポートを書く。</p> <p>グループでレポートを読み合い、自分も体験してみたいと思うものを選ぶ。</p> <p>Unit 6の学習全体を振り返って、自己評価する。</p>	<p>●職場体験の様子を伝えるために、自分が体験したことや感想を、まとまりのある文章でレポートに書いている。</p> <p>■読んだレポートを参考に、自分が体験したことや感想を書こうとしている。 (ワークシート)</p>

Active Grammar 6	不定詞 <形容詞的用法・副詞的用法>	教科書ページ	p.84
		配当時間	1時間
教材の目標	・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解することができる。	学習時期	11月
言語材料	【復習】 不定詞の形容詞的用法 目的を表す不定詞の副詞的用法 原因を表す不定詞の副詞的用法		

	評価規準
知識	不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。
	Unit 4, 6 のストーリーを読んで、不定詞を○で囲み、意味や働きを確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.84	<p>不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の使用場面、意味、文の形を整理、使い方に慣れる。</p> <p>帯活動</p> <p>Unit 4, 6 の登場人物のせりふから、不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の使用場面と意味を確認する。</p> <p>不定詞の形容詞的用法を使った文の形を整理する。</p> <p>目的を示す不定詞の副詞的用法を使った文の形を整理する。</p> <p>原因を示す不定詞の副詞的用法を使った文の形を整理する。</p> <p>練習を通して、不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の使い方に慣れる。</p> <p>Grammar Hunt の活動をする。</p>	<p>○Unit 4, 6 のストーリーを読んで、不定詞を○で囲み、意味や働きを確かめることができる。</p> <p style="text-align: right;">(観察・ワークシート)</p>

Active Grammar 7	接続詞	教科書ページ	p.85
		配当時間	1時間
教材の目標	・既習の接続詞を整理して理解することができる。	学習時期	11月
言語材料	【復習】 接続詞 when, if, because, that		

評価規準	
知識	既習の接続詞の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。 Unit 5, 6 のストーリーを読んで、接続詞を○で囲み、それぞれの接続詞がどのように2つの文をつないでいるかを確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.85	既習の接続詞それぞれの使用場面、意味、文の形を整理し、使い方に慣れる。 帯活動 Unit 6 の Kota のスピーチから、because と that がどのように2つの文をつないでいるかを考える。 接続詞 when, if, because を使った文の形を整理する。 接続詞 that を使った文の形を整理する。 活動を通して、既習の接続詞の使い方に慣れる。 Grammar Hunt の活動をする。	○Unit 5, 6 のストーリーを読んで、接続詞を○で囲み、それぞれの接続詞がどのように2つの文をつないでいるかを確かめることができる。 (観察・ワークシート)

Let's Read 2	Meet Hanyu Yuzuru	題材	インタビュー
		教科書ページ	p.86-89
教材の目標	・インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。	配当時間	3時間
		学習時期	12月
言語材料	語句 figure skater, word, inspire, east, area, scared, disaster, everyday, skate, support, receive, continue, supporter, thankful, high school, start, train, spoke, understand, opinion, gesture, mistake, somehow, limited, Olympic, injure, gold, medal, mind, various, challenge, limit, succeed, became, confident 連語 way of ~ continue-ing because of ~ at first continue to ~ on the other hand at one's best succeed in-ing be on one's side		
言語の使用場面／働き	働き (ウ) 説明する (オ) 質問する		

		評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	接続詞 when, because, that や不定詞などの用法について正確に理解している。			○			
	インタビュー記事を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。			○			
思考・判断・表現	羽生選手の経歴や思いを知るために、インタビュー記事の概要を捉えている。			●			
主体的に学習に取り組む態度	インタビュー記事の概要を捉えようとしている。			■			
	羽生選手のメッセージに対する感想や羽生選手に質問したいことを、読んだ内容をもとに考えている。			■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.86-89	インタビュー記事を通して読んで概要をつかんだ後、彼を力づけた出来事を読み取る。 帯活動 Before You Read 羽生選手について知っていることを話し合い、記事の内容を推測する。 記事全体を通して読み、記事の構成や概要を捉え、答えの中で羽生選手がいちばん伝えたいことは何かを考える。 最初の質問と答えについて、Q&A で内容の詳細を確かめながら、羽生選手を力づけた出来事を読み取る。	■ 羽生選手の経歴や思いを知るために、インタビュー記事の概要を捉えようとしている。 ○ 最初の質問と答えを読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
2	p.87-88	羽生選手が英語について感じていることや苦しいときをどう乗り越えたかを読み取る。 帯活動 最初の質問と答えを聞き、音読する。 2番目の質問と答えについて、Q&A で内容の詳細を確かめながら、羽生選手が英語について感じていることを読み取る。 3番目の質問と答えについて、Q&A で内容の詳細を確かめながら、羽生選手が苦しいときをどう乗り越えたかを読み取る。 最後の質問と答えから、羽生選手のメッセージを読み取る。	○ 記事の最初の質問と答えを音読することができる。 ○ 2番目から最後まで質問と答えを読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
3	p.86-89	記事の概要を確かめ、読んだ感想や自分自身が羽生選手に質問したいことなどを発表する。 帯活動 2番目から最後まで質問と答えを聞き、音読する。 After You Read 教科書の空欄に適する語を入れながら記事の内容を視覚的に整理し、概要を確かめる。 Think 羽生選手のメッセージに対する感想や、羽生選手に質問したいことを考え、発表する。	○ 2番目から最後まで質問と答えを音読することができる。 ● インタビュー記事の概要を捉えている。 ■ 羽生選手のメッセージに対する感想や羽生選手に質問したいことを、読んだ内容をもとに考えている。 (観察・ワークシート)

World Tour 2	世界を舞台に働く人	教科書ページ	p.90-91
		配当時間	1時間
教材の目標	・世界で活躍する人たちにの説明から、文章の流れを捉えることができる。	学習時期	12月
言語材料	語句 poverty, thought, designer, fashion, company, story, quality, produce, decide, fashionable, business, only, sharp, knives, store, customer, himself, spread, owner 連語 decide to ~ not only ~ but also ... come to ~ hundreds of ~		
言語の使用場面／働き	働き (ウ) 説明する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	接続詞 when, that や不定詞の用法について正確に理解している。	○	○			
	説明文から、人物の行動や考え、いつの出来事か、因果関係などを読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	写真の順序に合う文章にするために、説明文からおおまかな内容を読み取り、文章の流れを捉えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	説明文からおおまかな内容を読み取ろうとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.90-91	写真の順序に合うように説明文の順序を考え、音声を聞いてその順序を確認する。 帯活動 写真から、文章の内容を推測する。 1の4つの説明文を読み、それぞれの写真に合う説明を選ぶ。 1の音声を聞いて、文の正しい順番を確かめる。 2の4つの説明文を読み、それぞれの写真に合う説明を選ぶ。 2の音声を聞いて、文の正しい順番を確かめる。 Think 世界を舞台に活躍する人について考える。	○説明文から、人物の行動や考え、いつの出来事か、因果関係などを読み取ることができる。 ●写真の順序に合う文章にするために、説明文からおおまかな内容を読み取り、文章の流れを捉えている。 ■説明文からおおまかな内容を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)

You Can Do It! 2	職業診断のチャートを作ろう	教科書ページ	p.92-93
		配当時間	2時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職業についてのコメントを読み、どの職業の人のものかを推測することができる。 ・職業診断のチャートを作り、職業診断のやり取りをすることができる。 	学習時期	12月
言語材料	語句 farmer, stylist, express, creative, careful, face, till, air, open air, latest, prefer, animator, engineer, researcher 連語 lots of ~ keep up with ~		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	職業についてのコメントから、その職業の楽しいところや大変なところなどの内容を読み取ることができる。		○			
	好みや考えなどについて、相手の質問に答えたり、相手に質問したりすることができる。			○		
思考・判断・表現	それぞれの職業に就く人のコメントとしてふさわしいものを選ぶために、その職業についての必要な情報を読み取り、適切に理解している。		●			
	自分や相手に合う職業を診断するために、日常生活や将来に関する好みや考えなどについて、適切に相手の質問に答えたり、相手の答えに応じて質問したりしている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	それぞれの職業についての情報を読み取ろうとしている。		■			
	相手の質問に答えたり、相手の答えに応じた質問をしようとしていたりしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.92	職業についてのコメントを読み、写真の職業にふさわしいコメントを話し合って選ぶ。 Reading 写真で示された5つの職業の「楽しいところ」と「大変なところ」を予想する。 5つの職業についてのコメントから、「楽しいところ」と「大変なところ」を読み取る。 ペアでそれぞれの職業に就く人のコメントとしてどれがふさわしいかを話し合う。 クラス全体で話し合い、職業とコメントを結び付ける。 Thinking 職業診断のチャートの案を考える。	○職業についてのコメントから、その職業の楽しいところや大変なところなどの内容を読み取ることができる。 ●それぞれの職業に就く人のコメントとしてふさわしいものを選ぶために、その職業についての必要な情報を読み取り、適切に理解している。 ■それぞれの職業についての情報を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
2	p.93	診断チャートを完成させ、チャートを使って職業診断のやり取りをする。 Thinking 話し合って職業診断のチャートを完成させる。 Speaking グループどうしで、チャートを使って職業診断のやり取りをする。終わったら、別のグループと同じようにやり取りする。 活動を振り返って、自己評価をする。	○好みや考えなどについて、相手の質問に答えたり、相手に質問したりすることができる。 ●自分や相手に合う職業を診断するために、日常生活や将来に関する好みや考えなどについて、適切に相手の質問に答えたり、相手の答えに応じて質問したりしている。 ■相手の質問に答えたり、相手の答えに応じた質問をしようとしていたりしている。 (観察・ワークシート)

Unit 7	Amazing Australia	題材	異文化クイズ
		教科書ページ	p.95-103
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。 町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことができる。 	配当時間	9時間
		学習時期	1月
言語材料	<p>基本文 Part 1 Australia is larger than Japan. Australia is the largest island in the world.</p> <p>Part 2 Rugby is more popular than soccer in Australia. Which sport is the most popular in Australia?</p> <p>Part 3 Uluru is as tall as Tokyo tower. The Statue of Liberty is not as tall as Tokyo Tower.</p> <p>語句 continent, natural, beauty, unique, southern, hemisphere, than, population, fact, deep, lake, river, quiz, most, rugby, Australian, football, rock, tower, pyramid, exactly, huge, sacred, site, Aboriginal people, lunchbox, doll, expensive, barrier, reef, coral, system, earth, visible, dolphin, turtle, whale, dugong, million, tourist, snorkeling, scuba diving, pot</p> <p>連語 be famous for ~ Some ~. Others ~. in fact one fifth of ~ more than ~ one of ~</p> <p>表現 Not bad. Exactly!</p>		
言語の使用場面 / 働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動</p> <p>働き (ア) 相づちを打つ (ウ) 説明する, 発表する (エ) 意見を言う (オ) 質問する</p>		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	形容詞の比較級, 最上級, as ~ as の構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	形容詞の比較級, 最上級, as ~ as を使った会話から, 湖の大きさや深さ, 見たいテレビ番組, 登場人物が選んだ品物の特徴などを正確に聞き取ることができる。	○				
	形容詞の比較級, 最上級, as ~ as を使った英文を読んで, 内容を正しく理解したり, 正しく音読したりすることができる。		○			
	形容詞の比較級, 最上級, as ~ as を使って, 川の長さや山の高さの順位, 物事の難しさや大切さ, 品物の特徴などについて正確に伝え合うことができる。			○		
	形容詞の比較級, 最上級, as ~ as を使って, 川の長さや山の高さの順位, インタビューの結果, 自分が選んだ品物の特徴などについて正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	オーストラリアの名所とその特色を知るために, 観光紹介の記事から必要な情報を読み取り, 適切に理解している。		●			
	自分の町の名所や名物などを紹介するために, 紹介するものの特徴が伝わる, まとまりのある文章を書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	観光紹介の記事から必要な情報を読み取ろうとしている。		■			
	読んだ記事などを参考にして, 紹介するものの特徴が伝わる文章を書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.95	ストーリーの話題を予測し, おおまかな内容をつかむ。 帯活動 タイトルや写真などから, ストーリーの話題を予測する。 ストーリーを通して聞いて, おおまかな内容をつかむ。	
2	p.96	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.96の本文を読んで, 内容を理解する。 形容詞の比較級と最上級の意味・形・使い方を理解する。 p.96の本文を音読する。	○p.96の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
3	p.97	<p>形容詞の比較級や最上級を使った話を聞いたり、形容詞の比較級や最上級を使って話したり書いたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>Listen 富士山の周辺にある湖についての会話から、それぞれの湖を比較した情報を聞き取る。</p> <p>Speak 川の長さや山の高さを分担して調べた後、お互いが調べたことをたずね合う。</p> <p>Write 川の長さや山の高さの順位を書く。</p>	<p>○形容詞の比較級や最上級を使った会話から、湖の大きさや深さを聞き取ることができる。</p> <p>○比較級や最上級を使って、川の長さや山の高さについてたずね合うことができる。</p> <p>○比較級や最上級を使って、川の長さや山の高さの順位を書くことができる。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
4	p.98	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>帯活動</p> <p>p.98の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>more, most を使う形容詞の比較級と最上級を理解する。</p> <p>p.98の本文を音読する。</p>	<p>○p.98の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
5	p.99	<p>more, most を使う比較級や最上級を使った会話を聞いたり、それらを使って話したり書いたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>Listen 会話から、登場人物が見たいテレビ番組を聞き取る。</p> <p>Speak 難しいと思う教科や大切だと思うことについてインタビューをする。</p> <p>Write インタビューした結果を書く。</p>	<p>○more, most を使った会話から、見たいテレビ番組を聞き取ることができる。</p> <p>○more, most を使って、難しいと思う教科や大切だと思うことについて友達にインタビューすることができる。</p> <p>○ more, most を使って、インタビューした結果を書くことができる。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
6	p.100	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>帯活動</p> <p>p.100の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>as ~ as ... の構文の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>p.100の本文を音読する。</p>	<p>○p.100の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
7	p.101	<p>as ~ as ... を使った会話を聞いたり、as ~ as ... を使って話したり書いたりする。</p> <p>帯活動</p> <p>Listen 買い物の場面の会話を聞いたら、品物の特徴や最終的に客が選んだ品物が何かを聞き取る。</p> <p>Speak 互いがお土産として選んだものが何か、品物の特徴を比較して説明し、当て合うゲームをする。</p> <p>Write 自分が選んだ品物の特徴を説明する文を書く。</p>	<p>○as ~ as ... を使った会話を聞いて、品物の説明や客が選んだ品物を聞き取ることができる。</p> <p>○as ~ as ... を使って、お土産として選んだ品物の特徴を説明することができる。</p> <p>○ as ~ as ... を使って、自分が選んだ品物の特徴を書くことができる。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
8	p.102	<p>Goal 町にとっておきの情報を伝えよう</p> <p>グレート・バリア・リーフを紹介した記事を読んで、その特色などを読み取る。</p> <p>帯活動</p> <p>Read グレート・バリア・リーフの紹介記事から、そこにいる生き物や人気のあるアクティビティを読み取る。</p> <p>Q&Aなどで内容の詳細を確かめる。</p>	<p>●オーストラリアの名所とその特色を知るために、観光紹介の記事から必要な情報を読み取り、適切に理解している。</p> <p>■観光紹介の記事から必要な情報を読み取るうとしている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
9	p.103	<p>自分の町の名所や名物などを伝える紹介文を書く。</p> <p>帯活動</p> <p>自分の町で紹介したい場所や名物、おすすめする理由などを考える。</p> <p>教科書の例を読み、特徴が伝わる文の書き方を確認する。</p> <p>Write 紹介するものの特徴が伝わるように紹介文をまとめる。</p> <p>Unit 7の学習全体を振り返って、自己評価をする。</p>	<p>●自分の町の名所や名物などを紹介するために、紹介するものの特徴が伝わる、まとまりのある文章を書いている。</p> <p>■読んだ記事などを参考にして、紹介するものの特徴が伝わる文章を書こうとしている。</p> <p>（ワークシート）</p>

Daily Life 7	観光案内	教科書ページ	p.104-105
		配当時間	1時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> 音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。 観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。 	学習時期	2月
言語材料	語句 hot spring, fruit, grape, peach, local, vegetable, culture, village, prefecture, national, treasure, historical, hero		
言語の使用場面／働き	働き (ウ) 説明する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	形容詞の最上級, 同等比較 (as ~ as ...), 接続詞 if, There is ~. の構文などについて正確に理解している。	○	○			
	観光地の音声案内から, 説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を聞き取ることができる。	○				
	いくつかの県の観光案内情報から, 説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を読み取ることができる。		○			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.104-105	<p>音声案内から観光地の情報を聞き取ったり, 各県の観光案内から必要な情報を読み取って観光客の要望に合う県を選んだりする。</p> <p>帯活動</p> <p>北海道の観光地の音声案内を聞いて, 説明内容に合うポスターを選ぶ。</p> <p>福井県の観光地に音声案内を聞いて, 説明内容に合うポスターを選ぶ。</p> <p>山梨・長野・岐阜・愛知の観光案内情報から, 観光客の3つの要望に合う情報を読み取り, 3つの要望を全て満たす県を選ぶ。</p> <p>各県の観光案内情報の詳細を確かめ, 3つの要望を満たす県を確認する。</p>	<p>○観光地の音声案内から, 説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を聞き取ることができる。</p> <p>○いくつかの県の観光案内情報から, 説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を読み取ることができる。 (観察・ワークシート)</p>

Active Grammar 8	比較表現	教科書ページ	p.106
		配当時間	1時間
教材の目標	・比較表現を理解することができる。	学習時期	2月
言語材料	【復習】 比較級 最上級 同等比較 (as ~ as ...)		

評価規準	
知識	<p>形容詞や副詞の比較級, 最上級, 同等比較 (as ~ as ...) の使用場面, 意味, 文の形を正確に理解している。</p> <p>Unit 7 のストーリーを読んで, 比較表現を使った文に○印を付け, 何と何を比べているかを確認することができる。</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.106	<p>比較表現の使用場面, 意味, 文の形を整理し, 使い方に慣れる。</p> <p>帯活動</p> <p>Unit7 の Ms. Brown の言葉から, 比較級と最上級の使用場面と意味を確認する。</p> <p>形容詞と副詞の比較級を使った文の形を整理する。</p> <p>形容詞と副詞の最上級を使った文の形を整理する。</p> <p>形容詞と副詞の同等比較を使った文の形を整理する。</p> <p>Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>活動を通して, 比較表現の使い方に慣れる。</p>	<p>○Unit 7 のストーリーを読んで, 比較表現を使った文に○印を付け, 何と何を比べているかを確認することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 8	Staging a Musical	題材	ミュージカル公演
		教科書ページ	p.107-115
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。 	配当時間	9時間
		学習時期	2月
言語材料	<p>基本文 Part 1 It's still performed all over the world. The songs were written by Rodgers and Hammerstein.</p> <p>Part 2 The stage makes me nervous. We call our cat Felix.</p> <p>Part 3 She wants us to do our best.</p> <p>語句 written, scene, spoken, Chinese, build, built, painting, scream, act, actually, performance, snack, star, coast, blow, blew, everybody, camera, magic, trick, magic tricks, base, wizard, San Francisco, role, witch, totally, lonely, no one, trust</p> <p>連語 in any case blow one's line from side to side from the top each other</p> <p>表現 Well, ～. Let's give it our best shot! On one hand ～. On the other hand ～.</p>		
言語の使用場面／働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動</p> <p>働き (ア) 相づちを打つ (イ) 苦情を言う (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 依頼する</p>		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
		知識・技能	受け身, <S+V+O+C>, <want+人+不定詞>の構文について正確に理解している。	○	○	○
	受け身, <S+V+O+C>, <want+人+不定詞>を使ったクイズ問題や会話から、クイズのヒント、人物の気持ち、依頼の内容などを正確に聞き取ることができる。	○				
	受け身, <S+V+O+C>, <want+人+不定詞>を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	受け身, <S+V+O+C>, <want+人+不定詞>を使って、クイズを出し合ったり、自分の気持ちや希望を伝え合ったり、作品を紹介したりすることができる。			○	○	
	受け身, <S+V+O+C>, <want+人+不定詞>を使って、クイズの問題、自分の気持ち、自分の希望を書くことができる。					○
思考・判断・表現	Eri が大好きなミュージカルについて知るために、学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取り、適切に理解している。		●			
	友達に自分のお気に入り作品のよさが伝わるように、作者やおおまかな内容などの構成を考え発表することができる。				●	
主体的に学習に取り組む態度	学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取ろうとしている。		■			
	友達に作品のよさが伝わるように、記事を参考に構成を考えて発表しようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.107	<p>ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>帯活動</p> <p>タイトルやイラストなどから、ストーリーの話題を予測する。</p> <p>ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p>	
2	p.108	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>帯活動</p> <p>p.108の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>受け身の文の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>p.108の本文を音読する。</p>	<p>○p.108の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.109	受け身の文を使ったクイズを聞いたり、受け身の文を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen クイズを聞いて答えを選ぶ。 Speak クイズを出し合う。 Write 自分が出したクイズの問題を書く。	○受け身の文を使ったクイズを聞いて答えを選ぶことができる。 ○受け身の文を使って、クイズを出し合うことができる。 ○受け身の文を使って、自分が出したクイズの問題を書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.110	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.110の本文を読んで、内容を理解する。 <S+V+O+C>の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.110の本文を音読する。	○p.110の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.111	<S+V+O+C>を使った話を聞いたり、<S+V+O+C>を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen ビデオメッセージの音声から、登場人物にとって、どんなことがどんな気持ちにさせるかを聞き取る。 Speak どんなことがどんな気持ちにさせるかをたずね合う。 Write 自分がhappyかexcitedだと感じることを書く。	○<S+V+O+C>を使った会話から、どんなことがその人をどんな気持ちにさせるかを聞き取ることができる。 ○<S+V+O+C>を使って、どんなことがどんな気持ちにさせるかを伝え合うことができる。 ○<S+V+O+C>人がしていることを書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.112	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 帯活動 p.112の本文を読んで、内容を理解する。 <want+人+不定詞>の構文の意味・形・使い方を理解する。 p.112の本文を音読する。	○p.112の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.113	<want+人+不定詞>を使った会話を聞いたり、<want+人+不定詞>を使って話したり書いたりする。 帯活動 Listen 登場人物の会話から、Tinaが誰に何を頼むかを聞き取る。 Speak 友達に質問をして情報を集め、誰に何をしてもらいたいかを発表する。 Write 誰に何をしてほしいかを書く。	○<want+人+不定詞>を使った会話から、Tinaが誰に何を頼むかを聞き取ることができる。 ○<want+人+不定詞>を使って、誰に何をしてもらいたいかを言うことができる。 ○<want+人+不定詞>を使って、誰に何をしてほしいかを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.114	Goal 「私のお気に入り」を紹介しよう 学級新聞の記事から、作品紹介のおおまかな内容を読み取る。 帯活動 Read 学級新聞の記事から、紹介された作品のおおまかな内容を読み取る。 記事の詳細や、作品紹介の文章構成を確かめる。	●Eriが大好きなミュージカルについて知るために、学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取り、適切に理解している。 ■学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取るようとしている。 (観察・ワークシート)
9	p.115	友達にすすめたいお気に入りの作品を紹介し合う。 帯活動 自分が紹介したい作品について、作者やおおまかな内容、感想などの情報を書き出す。 Speak グループになり、それぞれのお気に入りの作品を紹介する。 友達が紹介した作品の中で興味をもったものを発表する。 Unit 8の学習全体を振り返って、自己評価をする。	●友達に自分のお気に入り作品のよさが伝わるように、作者やおおまかな内容などの構成を考え発表することができる。 ■友達に作品のよさが伝わるように、記事を参考に構成を考えて発表しようとしている。 (観察・ワークシート)

Active Grammar 9	受け身の文	教科書ページ	p.116
		配当時間	1時間
教材の目標	・受け身の文について理解することができる。	学習時期	2月
言語材料	【復習】 受け身の文		

	評価規準
知識	受け身の文の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。
	Unit 8 のストーリーを読んで受け身の文に○印を付け、意味を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.116	<p>受け身の文の使用場面、意味、文の形を整理し、使い方に慣れる。</p> <p>帯活動</p> <p>Unit 8 の登場人物のせりふから、受け身の文の使用場面と意味を確認する。</p> <p>受け身の肯定文、疑問文、否定文の形を整理する。</p> <p>不規則動詞活用表で、いろいろな動詞の過去分詞を確認する。</p> <p>普通の文と受け身の文を比べて、違いを考える。</p> <p>Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>活動を通して、受け身の文の使い方に慣れる。</p>	<p>●Unit 8 のストーリーを読んで受け身の文に○印を付け、意味を確かめることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Daily Life 8	音声ガイド	教科書ページ	p.117
		配当時間	1時間
教材の目標	・音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。	学習時期	3月
言語材料	語句 period, south, sky, wave, rainstorm, beneath, summit		
言語の使用場面 /働き	働き (ウ) 描写する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	音声ガイドから、作者や描かれているものについての説明を聞き取ることができる。	○				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.117	<p>音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取る。</p> <p>帯活動</p> <p>「富嶽三十六景」の3つの絵と作品のタイトルから、何が描かれているかを捉える。</p> <p>音声ガイドを聞いて、3つの作品の説明内容に当てはまるものを選ぶ。</p> <p>もう1度音声ガイドを聞いて、北斎や「富嶽三十六景」について聞き取ったことをメモする。</p> <p>聞き取った情報を伝え合い、作品への理解を深める。</p>	<p>○音声ガイドから、作者や描かれているものについての説明を聞き取ることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Let's Read 3	Emojis — From Japan to the World	題材	説明文
		教科書ページ	p.120-123
教材の目標	・ 説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。	配当時間	4時間
		学習時期	3月
言語材料	<p>語句 invent, cellphone, dictionary, chose, tear, joy, online, conversation, facial, expression, tone, text, convenient, difference, firstly, meaning, mean, clap, pray, positive, negative, cause, secondly, speaker, often, Arabic, French, below, reflect, Spanish, Spain, mammal, clothing, wedding, clock, male, born, misunderstand</p> <p>連語 both ~ and ... be born</p>		
言語の使用場面／働き	働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	受け身の文や接続詞 because や助動詞 should などの用法について正確に理解している。		○			
	説明文から、絵文字が世界に広まった経緯や使い方の違い、筆者の意見などを読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	身近なコミュニケーションツールである絵文字について考えを深めるために、文章構成を理解し、段落の要点を読み取りながら、説明文の概要を捉えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	文章構成や段落の要点を考えながら読み、説明文の概要を捉えようとしている。		■			
	本文の内容で共感できる場所や異なる考えをもったところについて、読んだ内容をもとに考えている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.120-123	<p>説明文を通して読み、おおよその内容と構成をつかむ。</p> <p>帯活動</p> <p>Before You Read 絵文字を使うことにはどのような利点や注意点があるかを考え、説明文の内容を推測する。</p> <p>説明文を通して読み、おおよその内容と文章構成をつかむ。</p>	<p>■身近なコミュニケーションツールである絵文字について考えを深めるために、文章構成や段落の要点を考えながら読み、説明文の概要を捉えようとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
2	p.120-121	<p>日本の絵文字が世界に広まった経緯とその理由を読み取る。</p> <p>帯活動</p> <p>p.120 から p.121 の 6 行目までの本文について、Q&A で内容の詳細を確かめながら、日本の絵文字が世界に広まった経緯とその理由を読み取る。</p>	<p>○p.120 から p.121 の 6 行目までの本文を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
3	p.121-123	<p>日本と外国とで絵文字の使い方がどのように違うかと、筆者の意見を読み取る。</p> <p>帯活動</p> <p>p.121 の 7 行目から p.122 までの本文について、Q&A で内容の詳細を確かめながら、日本と外国での絵文字の使い方の違いを読み取る。</p> <p>p.123 の本文の内容の詳細を確かめ、筆者の意見を読み取る。</p>	<p>○p.121 の 7 行目から p.123 までの本文を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
4	p.123	<p>説明文の概要を確認し、絵文字についての経験や考えを話し合う。</p> <p>After You Read</p> <p>説明文の内容を視覚的に整理し、概要を確かめる。</p> <p>Think 絵文字についての自分の経験を話し合う。</p> <p>Think 本文の内容で共感できる場所や異なる考えをもったところについて話し合う。</p>	<p>●文章構成を理解し、段落の要点を読み取りながら、説明文の概要を捉えている。</p> <p>■本文の内容で共感できる場所や異なる考えをもったところについて、読んだ内容をもとに考えている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

World Tour 3	世界遺産めぐり	教科書ページ	p.124-125
		配当時間	1時間
教材の目標	・各国の世界遺産の紹介から、必要な情報を聞き取ることができる。	学習時期	3月
言語材料	語句 locate 連語 be located		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	受け身の文や比較表現について正確に理解している。	○				
	世界遺産の紹介から、それがあある場所や特色、数字などを聞き取ることができる。	○				
思考・判断・ 表現	自分が予想した場所が合っているかどうかを確かめるために、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
主体的に学習に 取り組む態度	世界遺産について必要な情報を聞き取ろうとしている。	■				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.124-125	<p>世界遺産の紹介から、それがあある場所や特色などを聞き取る。</p> <p>写真や世界遺産についての知識から、題材を導入する。</p> <p>1～5の世界遺産が地図上のどこにああるかを予想する。</p> <p>世界遺産の紹介から、それぞれがあある場所を聞き取る。</p> <p>世界遺産の紹介から、それぞれの特色を表す文の空欄に入る語句や数字を聞き取り、答えを確かめる。</p> <p>Think 日本にあある世界遺産について知っていることを伝え合う。</p>	<p>○世界遺産の紹介から、それがあある場所や特色、数字などを聞き取ることができる。</p> <p>●自分が予想した場所が合っているかどうかを確かめるために、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>■世界遺産について必要な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

You Can Do It! 3	日本のおもしろいものを紹介しよう	教科書ページ	p.126-127
		配当時間	2時間
教材の目標	・インタビューから、外国人旅行者の意見を聞き取ることができる。 ・クイズ形式で、日本のおもしろいものを紹介することができる。	学習時期	3月
言語材料	語句 Austria, Indonesia		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	インタビューから、旅行者が話題にしているものの特徴や用途などの内容を聞き取ることができる。	○				
	紹介するものの特徴や、どんなときに使われるかなどを話すことができる。				○	
思考・判断・表現	旅行者がおもしろいと思ったものは何かを知るために、インタビューから必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
	選んだもののおもしろさを伝えるために、紹介するものの特徴や用途、おもしろいと思うポイントを整理してクイズを出している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	インタビューから、旅行者がおもしろいと思ったものを聞き取ろうとしている。	■				
	紹介するものの特徴や用途、おもしろいと思うポイントを考えてクイズを出している。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.126-127	インタビューから、旅行者が「日本でおもしろいと思ったもの」を聞き取り、自分たちが紹介するものを決める。 Listening 教科書のA~Mの写真から、聞く内容を推測する。 インタビューから、日本でおもしろいと思ったものがA~Mのどれかを聞き取る。 もう1度インタビューを聞き、旅行者がおもしろいと思ったポイントなど、詳細を聞き取る。 Thinking A~Mの「おもしろいポイント」を話し合う。 自分たちが紹介するものを2つ決めて、それぞれを説明するためのアイデアを出し合う。	○インタビューから、旅行者が話題にしているものの特徴や用途などの内容を聞き取ることができる。 ●旅行者がおもしろいと思ったものは何かを知るために、インタビューから必要な情報を聞き取り、適切に理解している。 ■インタビューから、旅行者がおもしろいと思ったものを聞き取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
2	p.152	ペア対ペアで、日本でおもしろいものを紹介し、何を紹介しているかを当て合うクイズをする。 Speaking 紹介する内容と方法を決めて、紹介の準備をする。 紹介の練習をする。 ペア対ペアで、日本でおもしろいものを紹介し合い、何を紹介しているかを当て合う。 活動を振り返って、自己評価をする。	○紹介するものの特徴や、どんなときに使われるかなどを話すことができる。 ●選んだもののおもしろさを伝えるために、紹介するものの特徴や用途、おもしろいと思うポイントを整理してクイズを出している。 ■紹介するものの特徴や用途、おもしろいと思うポイントを考えてクイズを出している。 (観察・ワークシート)

Let's Read More 1	The Statue of Liberty	題材	紹介文
		教科書ページ	p.143
教材の目標	・紹介文から、自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。	配当時間	(1時間)
		学習時期	9月または3月
言語材料	語句 the U.S.A., celebrate, official, freedom, international, friendship, across, harbor, ticket, stair, crown, reach 連語 each year		
言語の使用場面／働き	働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	there is の構文, 不定詞, 接続詞 if などの用法について正確に理解している。		○			
	紹介文から, 自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	自由の女神像の歴史や見どころなどについて知るために, 紹介文のおおまかな内容や語句を手がかりにして, 必要な情報を読み取っている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	紹介文のおおまかな内容や語句を手がかりにして, 必要な情報を読み取ろうとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.143	自由の女神像の紹介文から, その歴史や見どころを読み取る。 Before You Read 自由の女神像について知っていることを話し合い, 文章の内容を推測する。 紹介文を通して読み, おおよその内容を捉える。 Q&A で内容の詳細を確かめながら, 自由の女神像の歴史や見どころを読み取る。 After You Read 自由の女神像が何を象徴しているかと, 像の内部に入るには何が必要かについての情報を本文から探す。	○紹介文を読んで, 内容を理解することができる。 ●自由の女神像の歴史や見どころなどについて知るために, 紹介文のおおまかな内容や語句を手がかりにして, 必要な情報を読み取っている。 ■紹介文のおおまかな内容や語句を手がかりにして, 必要な情報を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)

Let's Read More 2	Aboriginal Art	題材	紹介文
		教科書ページ	p.144-145
教材の目標	・紹介文から、アボリジナル・アートの歴史や特徴を読み取ることができる。	配当時間	(2時間)
		学習時期	1月または3月
言語材料	語句 landmark, little, original, inhabitant, European, culture, especially, form of writing, land, page, modern, work, follow, style, dot, early, drew, feature, watering place, above, inside, kangaroo, X-ray, record, knowledge, wisdom 連語 most of ~ a large number of ~ in this way		
言語の使用場面/働き	働き (ウ) 説明する, 描写する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	比較表現や受け身の文などの用法について正確に理解している。		○			
	紹介文から、アボリジナル・アートが生まれた背景やその特徴などを読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	アボリジナル・アートの歴史や特徴について知るために、紹介文の概要を捉えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	紹介文の概要を捉えようとしている。		■			
	紹介文を読んで新しく知ったことや感じたことを、読んだ内容をもとに考えている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.144-145	<p>紹介文を通して読んでおおよその内容をつかんだ後、アボリジナル・アートが生まれた背景を読み取る。</p> <p>Before You Read 教科書の2つのアボリジナル・アートを見てその特徴を考え、文章の内容を推測する。紹介文を通して読み、おおよその内容をつかむ。</p> <p>p.144の本文について、Q&Aで内容の詳細を確かめながら、アボリジナル・アートが生まれた背景を読み取る。</p>	<p>■アボリジナル・アートの歴史や特徴について知るために、紹介文の概要を捉えようとしている。</p> <p>○p.144を読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)</p>
2	p.145	<p>アボリジナル・アートの特徴を読み取り、紹介文を読んで新しく知ったことや感じたことなどを話し合う。</p> <p>p.145の本文について、Q&Aで内容の詳細を確かめながら、アボリジナル・アートの特徴を読み取る。</p> <p>After You Read 紹介文の概要を整理しながら、アボリジナル・アートが生まれた背景と、アボリジナルが絵をどのように使っていたかについて書かれた部分を確認する。</p> <p>紹介文を読んで新しく知ったことや感じたことを話し合う。</p> <p>Think 昔の人の知恵を伝えるものとして自分が紹介したいものについて話し合う。</p>	<p>○p.145を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>●紹介文の概要を捉えている。(観察・ワークシート)</p>